

な、惨烈な過程とは著しく異らしめて居る。この歴史に蓄積された經驗は、今日の發達した文化と相俟ち新時代の代表階級たる労働階級が社會主義への道を日本的に、獨創的、個性的に、且つ極めて秩序的に開拓するを可能ならしめるであらう。民族的範疇の無視を以て階級に忠實なる條件と空想するのは小ブルジョアの思考である。日本民族の強固な統一性が日本における社會主義を優秀づける最大条件の一つであるのを把握できないものは革命家でない。民族とは多數者即ち労働者に外ならない。我々は我が労働階級及び一般に勤勞人民大衆の創造的能力に強い信念をもつ。

日本共産黨はコミンタインの指示に従つて君主制廢止のスローガンをかゝげた。前記テレーゼの思想の一は、更に一步を進め、反君主闘争が現存下の階級闘争の主要任務であるなどのバカげた規定をしたことにある。コミンタインは日本の君主制を完全にロシアのツァーリス

ムと同視し、それに對して行つた闘争をそのまま日本支部に課して居る。日本共産黨に於けるこのカムバは最近益々極端に赴いて居る。恐らくコミンタイン指導者をも満足させざるほどに、黨は政治的スローガンとしては「天皇制打倒」を恰も念佛の如く反覆し、あらゆる場合に於ては、淺薄な呪咀の言葉をヤタラに振りまいて居る。資本家地主政權といふ階級の言葉すら最近の黨機關紙には見當らない。労働者の階級闘争をかゝる一題目に單純化して以て能事了れりとして居るのは極めて政治的無能であるが、極めて具體的の何もして居らぬからである。黨のかゝるカムバは急進小ブルジョアの間空疎且つ觀念的な自由主義的興奮を喚起すると同時に、他方、労働者の生活氣持には、ますます近づき難い状態に自らを置いて居る。我々は日本共産黨がコミンタインの指示に従ひ、外観だけ革命的にして實質上有害な君主制廢止のスローガンをかゝげたのは根本的な誤謬であつたことをみとめる。それは君主を防身の猶とするブルジョア及び地主を喜ば